

式 辞

柔らかな日差しを浴びて 木々のつぼみもふくらみを増し、春の伊吹が心を和ませてくれるこのよき日に、PTA 会長〇〇様のご臨席を賜り、令和 5 年度 埼玉県立熊谷西高等学校 第 47 回卒業証書授与式を挙行できますことは、本校にとりまして大きな喜びであります。

ただいま、卒業証書を授与されました普通科、理数科併せて 270 名の皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。

卒業生の皆さんは、この 3 年間、日々の授業をはじめ、学校行事や生徒会活動、委員会活動、部活動など、様々なことに意欲的に取り組み、1・2 年生の模範となり成果をあげてきました。1 年生の時は、新型コロナウイルス感染症の影響で、制限を受けながら学校生活を送りましたが、2 年生になると例年に近い形で教育活動を行えるようになってきました。広島・京都方面の修学旅行では、計画的・主体的で英姿颯爽とした班別自由行動が特に素晴らしかったです。3 年時の文化祭では、どのクラスの劇も見ごたえがあり、全員の協力のもと、1 つのものを創り上げる素晴らしさを感じました。また、3 年間をとおして全校体制で取り組んだ探究活動や課題研究、発表会は全国的にも誇れる取組で、入学時と比べ思考力や表現力が大きく向上した、と確信しています。西高で学び、経験したことを誇りとして今後の人生の中で大いに生かして行ってください。

今、皆さんの卒業に際し、私たち教職員が願うこと、それは皆さん一人一人が「幸せな人生を歩んでほしい」ということです。

では、幸せの条件とはなんでしょうか？ お金を思い浮かべた人もいるかもしれませんが、確かに、お金がたくさんあれば大抵のほしいものが手に入り、上手に使えば快適で豊かな生活を送れるかもしれません。しかし、お金がたくさんあったとしても、日々、失う不安を感じていたり、あるいは人から恨まれ不安や恐れを感じているならば、それは決して幸せとは言えません。お金がたくさんあることは、幸せの絶対的な条件ではないのです。

私が考える個人の幸せとは、「心が喜びや満足感、充実感、感謝の思いなど、プラスの感情やプラスの思いで満たされていること」です。その反対に「心が恨みや嫉妬、不平・不満、怒りなどといったマイナスの感情や思いに満たされていること」が不幸と言えるでしょう。心は目で見ることができません。私は物理が専門なのでエネルギーという言葉を使いますが、「心とは思考するエネルギーであり、感情を抱くエネルギー」と言えるのかもしれませんが、形あるもの、目に見えるものも大切な存在ですが、一方で目に見えないものの大切さにも気付けることが、豊かで幸せな人生を送る条件のように感じています。

では、心がプラスの感情や思いで満たされるのは、どんなときでしょうか。おいしいものを食べたとき、おもしろい映画を見たとき、なども小さな幸せを感じますが、もっと長い目、広い目を見た場合、心が満たされる時は、大きく 3 つあると思います。

1 つ目は、自分の向上を実感したときです。こつこつと努力をして自分が向上すると満足感や達成感、充実感が生まれ、幸せを感じます。

2つ目は、自分に多くのものが与えられていることに気付いたときです。例えば、多くの人から愛情を受け支えられて今の自分やこれからの自分があること、日本という世界から見れば恵まれた国で生活していること、新鮮な空気や水・食べ物が当たり前のようにあることもじつは当たり前ではないことなど、与えられている様々なことに気付くと感謝の思いが湧き、幸せを感じます。

心が満たされるとき3つ目は、他の人の役に立てたときです。他の人の役に立つと、相手の人が感謝の思いを持ち、自分も嬉しくなり幸せな気持ちになります。たとえ直接感謝されなくても、人や社会のために役に立てたというその思いは、満足感や充実感、やりがいを得ることにつながり、幸せを感じます。

皆さん一人一人、進む道は異なりますが、自分が選んだ環境でベストを尽くし、そして心をプラスの感情や思いで満たし、幸せな人生を築いていってください。

さて、改めて世界に目を向けると今も様々な衝突が起こっています。戦争やテロ、紛争の原因の多くは、相手の文化や歴史、思想、宗教などを認めず、自分の考え方のみが絶対的に正しいという思い込みから生じているように感じます。少しだけ歩み寄り、相手の価値観を尊重できれば、争いの多くはなくなっていくのではないのでしょうか。

現代はインターネットが発達したおかげで、日本に居ながら外国のことが手に取るようにわかる時代になりました。しかし、現地へ行って肌で感じ体験しないと分からないこともたくさんあります。チャンスがあれば海外へ赴き、多様なものの見方や考え方に触れて、新しい価値観を構築する機会をもってほしいと思います。そして、本校卒業生が地域社会や日本全体、さらに世界的な視野をもって活躍する人材となられることを心より期待しています。

本日もご臨席いただきました保護者の皆様におかれましては、お子様のご卒業を心から、お祝い申し上げます。18年間、大変お疲れ様でございました。いろいろな思いが去来していると推察いたします。嬉しかったことや楽しかったこと、大変だったことや辛かったことなど、たくさんの出来事があり、愛情をかけ子供を支援し、成長を見守り、今日という日を迎えました。誠にありがとうございます。そして、この3年間、本校の教育活動に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。ご家族や地域の皆様のご協力がなければ、学校教育は成り立ちません。卒業生の皆さんもこのことを心に刻み、感謝の気持ちを忘れないでください。

結びに、本日、卒業する皆さんが幸せな人生を歩み、明るい希望に満ちた未来を築かれることを、心より祈念するとともに、ご臨席を賜りましたPTA会長〇〇様、保護者の皆様をはじめ、本校にかかわるすべての皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念し、式辞といたします。

令和6年3月14日

埼玉県立熊谷西高等学校長 金室 紀夫